

能登半島地震 被災者救援義援金

岐阜新聞岐阜放送
社会事業団

《29日》

▽会社から 揖斐郡揖斐川町



極楽寺の末永電気が100万円。末永英司社長「写真」が届けた。

▽施設利用者から 可児市土田の複合リゾート施設「湯の華アイランド広場」(奥本隆一社長)が8万5802円。スパ



リゾート湯の華アイランド、湯の華市場、スポーツクラブ、湯の華(同市下恵土)の募金箱に利用者が寄せた善意と、施設を

運営する湯の華からの寄付金。

市場の大坪利明支配人、奥本社長、スパリゾートの松下拓磨マネージャー、スポーツクラブの高橋俊介チーフマネージャー「写真左から」が美濃加茂総局を通じて寄せた。

▽被災地のために 岐阜市早田栄町の伊藤テキスタイル(澤田憲明社長)が5万4千円。food事業部で販売している食パンなどの購入者から寄せられた善意。

▽被災地のために 揖斐郡大野町の大野新体操クラブ(河野博子代表)が3万円。



発表会の来場者と参加クラブから寄せられた善意を、大野新体操クラブのプチRGクラスの生徒ら「写真」が届けた。